



# 第1回新人助産師研修

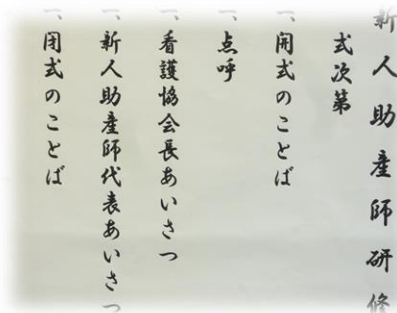


於：山口県看護研修会館

令和5年年7月29日（土）、新人助産師研修の開講式と第1回新人助産師研修が開催されました。今年の新人助産師研修参加者は、13名です。

今年度も全6回の新人助産師研修を開催致します。研修会を通して助産師としての知識を深め、同期の助産師間での情報交換やネットワーク構築の場として役立てて頂きたいと思います。

開講式後に、第1回新人助産師研修・公開講座が開催されました。午前は、山口大学医学部附属病院 小児科医師 松隈知恵先生に「新生児のフィジカルアセスメント」、午後は、山口大学医学部附属病院 新生児集中ケア認定看護師 三木砂織先生に「新生児の看護」についてご講義頂きました。共に、公開講座14名の参加がありました。



午前の講義では、「言葉で自分の異常を伝えることが出来ない（新生児に対し常に関心を払い変化を見逃さない）」「赤ちゃんのそばにいて見る、聴く、触る」「母体情報（母体合併症、妊娠分娩経過）がカギ」「出生後に起こりやすい疾患や病態を理解する」という新生児フィジカルアセスメントの特殊性について再認識し、理解を深めることが出来ました。「not doing well」に気付き異常の早期発見に努めたいと思います。実際に治療を行っている場面の動画はとても感動的でした。

午後の講義では、「新生児看護の特徴」「NICUに入院される母親の心理過程」「NICUの家族支援の実際」について学ぶことが出来ました。こころのケアの基本については、様々なケースについて具体的に説明して頂き大変勉強になりました。出産後、母子分離状態となった母親・家族に対し、どのような対応をすることが良いのかと迷うことがありましたが、アイコンタクト、触れ合い、声かけにより信頼関係を築き、母親・家族の心が少しでも軽くなるような看護を志していきたいと思います。



今後も、新人助産師の助産実践能力の向上を図る為、様々な研修を計画しています。公開講座へのご参加、お待ちしております。

山口県看護協会 助産師職能委員会

